

知識蓄積に新聞を

百石高 出前講座で活用法学ぶ



おいらせ

おいらせ町の百石高校
(荒川由美子校長)はこの
ほど、八戸学院短期大学ラ

イフデザイン学科長の茂木
典子教授を講師に招き、「な
ぜ新聞を読むのか」をテー
マに出前講座を行った。茂
木教授は生徒たちに「社会

生徒に質問しながら新聞
を読む利点を説明する茂
木教授⑥

生活を送る基礎体力を付け
ることに役立つ」と新聞を
読む利点を紹介した。

講演を聴いたのは普通科
2年生104人。週1回、
学校設定科目「新聞を読も
う」という授業を受けてい
る。

茂木教授は新聞の特徴に
ついて、情報が信頼できる、
読者のニーズに応えるよう
作られているーなどを挙
げ、「読み続けければ、社会
生活を送る上で必要な知識
を自然に蓄積できる」と述
べた。

この他、学生時代に新聞
を読んでいなかったため、
就職試験での外れな回答を
したという自身の失敗談も
告白。「一度しかない一生
をより良く生きるため、今
すぐ新聞を読んで」と語り
かけた。

土橋有紗さんは「とても
説得力があった。これから
はただ読むだけでなく、記
事を読んでどう思ったか自
分の意見も書きとどめてお
こうと思う」と、茂木教授
が薦めた新聞活用法を参考
にしていた。(寺沢龍哉)